

内原地区には、地域全体で子どもを守り育てる、地域の大きな力があります。

小中学校、家庭、
地域の連携で

世界に羽ばたく人材を育てよう!

水戸市小中一貫教育

内原中学校区小中一貫教育

水戸市立 鯉淵小学校・妻里小学校・内原小学校・内原中学校

内原中学校区の目標

「お互いに信頼し合う心を育てる学校づくり」

内原中学校区では、平成24年度より水戸市の小中一貫教育「まごころプラン」に基づき、義務教育9年間を見通した「内原中学校区小中一貫教育」に取り組んできました。

平成29年度からは水戸市の指定を受け、施設分離型小中一貫校としての系統的・継続的な一貫性のある教育を推進しています。

<内原中学校区の目指す児童生徒像>

人との関わりを通して信頼する心を大切にする児童生徒

地域・学校の教育力の高さや学校への母校愛を基盤にした教育活動の展開



小中学校児童生徒の交流

- ・「学びの広場」への生徒の参加
- ・小学校合同で宿泊学習の実施
- ・中学校体験入学の実施
- ・中学校区あいさつ運動の実施



学力の基礎となる 生活・学習習慣の定着

- ・生活ガイドを基にした生活習慣の定着
- ・学習ガイドを基にした学習習慣の定着

人との関わり方を学び、 信頼する心を育成

- ・「主として人との関わりに関する事」に重点を置いた道徳教育の充実
- ・行動方法を学ぶライフスキルの実践
- ・人権教育の充実

小中一貫教育とは？

<水戸市における小学校から中学校への進学の際の課題>

- 学習意欲の低下
- 計画的に学習する児童生徒の割合の低下
- 不登校児童生徒数の増加
- 学校生活のきまりや学習内容、指導などの急激な変化への戸惑い

- 「小学校では」「中学校では」という視点ではなく、「個々の子どもの成長のためにどうするか。」という子どもの側に立った視点での教育
- 系統的・継続的な一貫性のある教育

水戸市の小中一貫教育とは？

9年間を1つのステージとして、子どもの発達と学びの連続性を重視した系統的・継続的な指導を中学校区を単位に行っていく教育

「水戸市の小中一貫教育」のねらい

- (1) 9年間を見通し、子どもの発達と学びの連続性を重視し、学習への意欲を引き出し学力向上を図る教育を実践することで、義務教育を修了するにふさわしい確かな学力を定着させる。
- (2) 9年間を見通し、子どもの発達段階に応じた系統的・継続的な生徒指導を行うことにより、安心できる学校生活を実現する。
- (3) 児童生徒間の多様な交流活動や地域との交流により、豊かな人間性や社会性を育成する。
- (4) 教職員が児童生徒一人一人への理解を深めることにより、個に応じた指導や支援を充実する。
- (5) 小学校と中学校の教職員が相互に交流を深めることにより、教職員の資質と指導力の向上を図る。